

荒川放水路
通水100周年記念

「荒川将来像計画 地区別計画」改定案 の概要について

～健康・Well-Beingな川づくりを目指して～

1. 荒川将来像計画の概要について

荒川将来像計画とは

- 荒川将来像計画は、**荒川下流部をより魅力的な川とするための川づくりのあるべき姿**を示し、それらを実現するための取り組みをとりまとめたものです。**大きく3つの計画(全体構想書、推進計画、地区別計画)**から構成されています。
- 荒川では、時代の流れとともに、荒川の多様な機能と付加価値を高めることが求められ、流域に暮らす市民や行政が協働し、治水・環境・利用の相互関係を大切にバランスの保たれた川づくりが進められています。

● 荒川将来像計画
全体構想書1996
(長期計画)

策定当時考え得る将来の
望ましい姿を示した計画

● 荒川将来像計画
2010 推進計画(今後
10年間の中期計画)

荒川将来像計画1996を
踏まえ、今後10年後の望
ましい姿を目指した計画

荒川下流域全体の
骨格を示すもの



全体構想書
1996

市区ごとの具体的な実施計画
(概ね10年間)



地区別計画
(廃止)



地区別計画
(2市7区分あり)

荒川将来像計画の理念



多くの生き物を育む荒川



河川空間の節度ある利用ができる荒川



安心して快適な暮らしができる安全な荒川

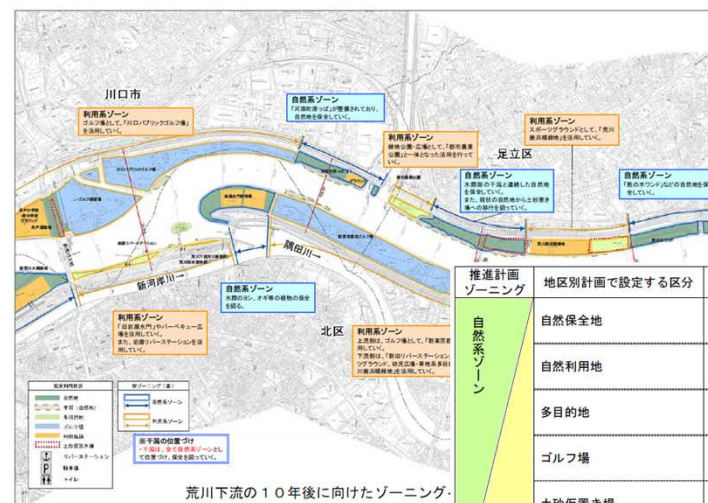


あらゆる人が川と触れ合い、
あらゆる人がくつろげる荒川



きれいで豊かな水が流れる荒川

ゾーニング計画



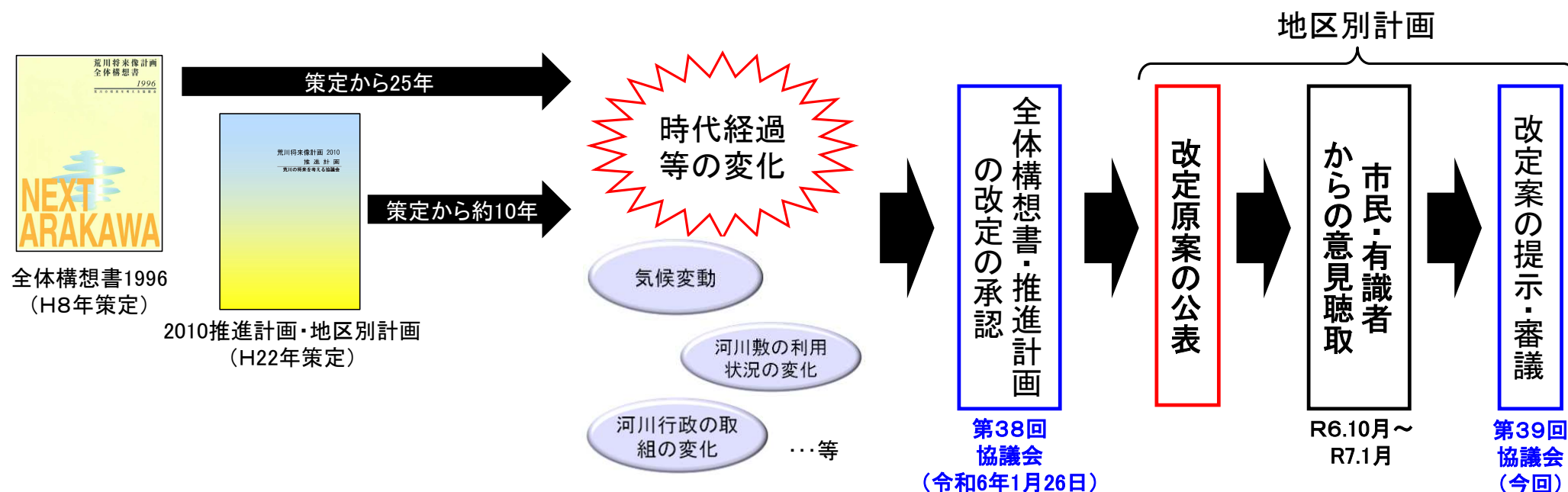
荒川下流の10年後に向けたゾーニング

推進計画 ゾーニング	地区別計画で設定する区分	目的	利用例
自然系ゾーン	自然保全地	現存する自然環境を保全する	モニタリング調査
	自然利用地	市民が自然環境に親しむ	環境教育、自然観察、釣り、散策、草摘み、虫取り
	多目的地	多目的に利用	散策、ピクニック、球技以外のスポーツ等
	ゴルフ場	ゴルフに利用 (市民への敷地開放も検討)	ゴルフ (散策、ピクニック)
利用系ゾーン	土砂仮置き場	治水整備に伴う土砂の仮置き場として利用する	河川工事の施工用地
	各種競技場	ゴルフ以外の特定のスポーツを行う	野球、サッカー、テニス、ゲートボール、陸上競技等
	その他	スポーツ以外の特定の目的で使用	駐車場、船着場、緊急用河川敷道路等

2. これまでの経緯

これまでの経緯

- **全体構想書の策定から約25年、推進計画・地区別計画の策定から約10年経過**したことを踏まえ、令和元年度より国及び沿川2市7区で、現計画が抱える課題について協議してきました。
- 課題を踏まえ、**荒川の将来を考える協議会**において、**計画の改定が必要であると判断し、令和6年1月26日に全体構想書、推進計画を改定、引き続き地区別計画を改定する予定**です。



改定予定

令和7年度(今回): 戸田市、川口市、北区、墨田区、葛飾区、江東区、江戸川区
令和7年度以後 : 板橋区、足立区

2. これまでの経緯

意見聴取時の主なご意見

有識者ヒアリング

【計画全般に対する意見】

- 荒川放水路のこれまでの経過を追記した方が改定の方方向性が分かりやすい。
- 自治体間で土地利用を連携できれば良いと思う。

【個別自治体への意見】

自治体	意 見
戸田市	● ボートコースの利用者を街づくりの担い手として期待できるとしたら、戸田市にとって期待できるゾーンになるかもしれない。 ● 利用調整が大変な部分があるかもしれないが、市民会議やボランティアとは違う関わり方をしていただける新しい担い手を確保していくことで、新しい河川行政にどう対応していくのかという視点も感じられるようになると良いと思う。
川口市	● 赤羽側から来るときも一番に見るところになる。アクセス性もよく、非常に貴重な空間なので、是非いい空間をデザインしていただければと思う。
北区	● 防災ステーションは水害対策普及啓発の場としているので、見学会などもできるといいかもしれない。 ● 四阿などもあるので、堤内地もセットで見学とかもできればと思う。いろいろ工夫されている印象があるので引き続きやっていただけたらと思う。
墨田区	● 若い家族がすぐ川へアクセスできるようになれば良いと思った。 ● 野球場やサッカー場を利用しない世帯は利用しづらい。 ● 自然系ゾーンと利用系ゾーンの間に駐車場ができれば、どちらも利用することができる。
葛飾区	● 教育での利用で使うことができればよいと思う。小さいころから自然に親しんでほしいと思っている。マイクロバスが駐車できるようなどころがあるとよい。
江東区	● 地形的にスペースはないが、市民活動は活発なイメージがあるので、続けていっていただきたい。また、区独自のプログラムも多いと思う。
江戸川区	● 小松川千本桜や背後の公園、東京都が整備している旧中川ともつながっていくといい。

2. これまでの経緯

意見聴取時の主なご意見

パブリックコメント

【計画全般に対する意見】

- まえがきにこれまでの経緯等が書かれているが冗長でわかりづらいので簡潔な記載とすべき。どうしても経緯を書きたいなら文章ではなく表形式にするべき。
- 「荒川に関する計画」と言われた場合に真っ先に思い浮かべるのは荒川が氾濫した場合に備える防災計画であると思われる。そのため、防災に関する計画は別途存在することや、本計画は防災を含めた荒川の全般的な計画であるということを冒頭部分に明記すべき。

【個別自治体への意見】

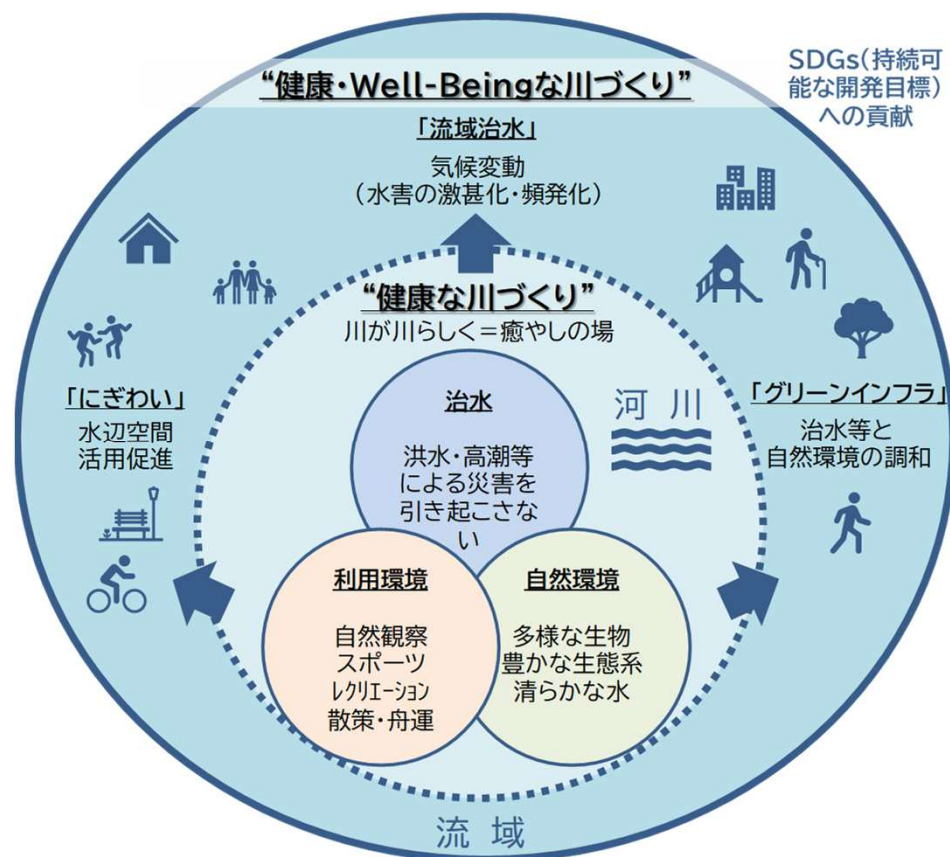
自治体	意 見
戸田市	● 戸田市にとって荒川の素敵な利用ができるよう、魅力的な川づくりを実現させてください。
北区	● ボランティアで時折、荒川河川敷のゴミ拾いをしています。他区のゴミ拾い体制がとても良いものと思うので、北区でも同様の対応を希望します。 ● 区内で空が開けた空間は非常に少なく、荒川河川敷は本当に気分転換できる場所です。そんな場所がキレイだとより良く感じますので、これからもゴミ拾いを続けます。
江東区	● 近隣の公園でボール遊び禁止とされていて子どもたちがボールを蹴ったり投げたりできる場所が限られています。 ● 是非整備していただきこどもたちが思う存分スポーツを楽しめる環境を作っていただきたいです。
江戸川区	● 中土手の河川洪水対策として、河川敷掘り下げにより出来た淡水池の環境がギンヤンマなど昆虫類の繁殖地となっている。また、ツバメは都内で激減しているが、昆虫捕食の餌場となっていることから飛来個体の増加が見込まれる。以上を踏まえ、この池は自然環境保護として大変有効であることから、今後も維持・保全して頂きたいと思います。

3. 地区別計画(改定案)のポイント

➤ 改定の想い、コンセプトの追加

現行計画の理念・方針「健康な川づくり」を発展させ、
 「気候変動等の社会変化、社会における河川の役割に柔軟に対応し、
 老若男女あらゆる世代や外国人等の多様な人々が荒川と共に流域
 で豊かに暮らし、「荒川」と荒川に関わる「まち」と「ひと」が共に**健康・
 Well-Being(ウェルビーイング)な状態へ変容していくことを目指しま
 す。**」とするとともに、

「『流域治水』の考え方」も取り入れ、“あらゆる人が川に親しみ、川へ
 の理解を醸成し、川を守り育てる”という姿勢で取り組むことを明記



➤ 気候変動・災害の激甚化

全国各地で自然災害が頻発し甚大な被害が発生。防災の観点の充
 実化が求められている。

⇒荒川水系流域治水プロジェクト等の取組について記載



令和元年東日本台風では、
 荒川水系越辺川・都幾川
 が決壊

➤ 河川行政の取組の変化

流域治水やにぎわいづくりの観点などの河川行政の変化が生じている。

⇒かわまちづくり、高台まちづくり等の取組について記載



にぎわい拠点づくりの例(足立区都市農業公園)

➤ 荒川を通じた環境学習

荒川を通じた環境学習による持続可
 能な社会の人材づくりについて記載が
 あるとよい。

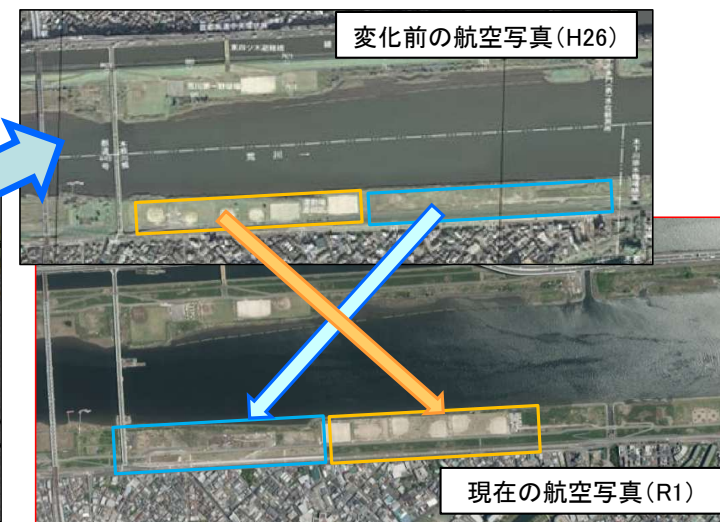
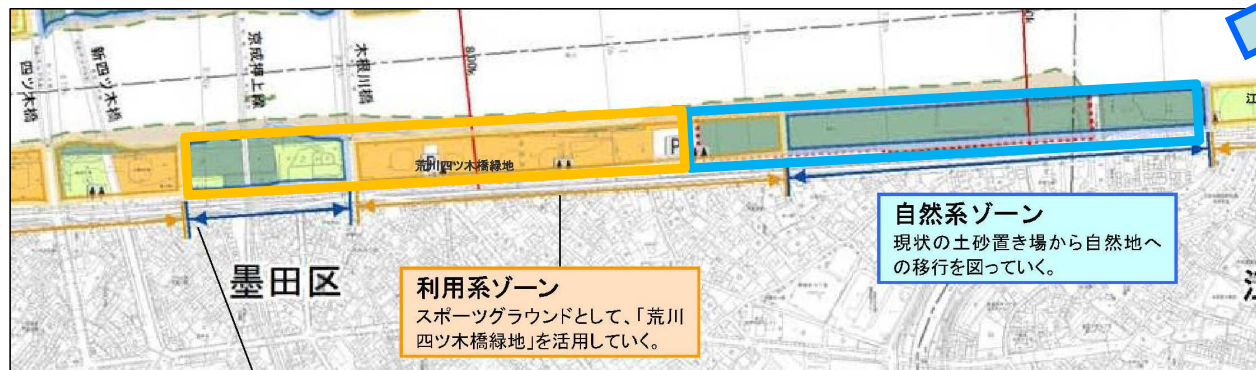
⇒治水・防災、まちづくり等の環境学
 習の場となり、持続可能な社会の人
 材づくりについて記載



3. 地区別計画(改定案)のポイント

➤ 河川敷の利用状況の変化

計画策定時のゾーニングと乖離が生じている
⇒土地利用区分(ゾーニング図)の修正



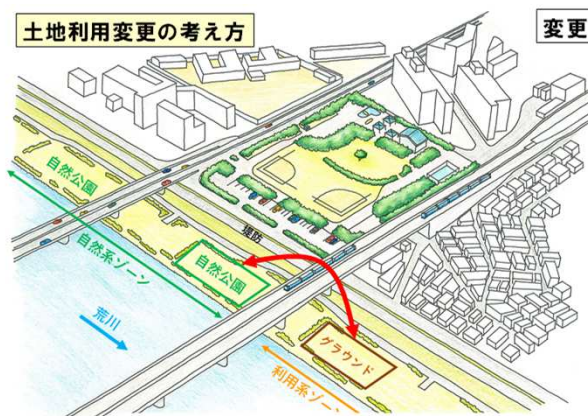
➤ ゾーニング・土地利用区分を見直す場合の考え方

ゾーニング・土地利用区分を見直す場合の考え方の明記

⇒ゾーニング全体目標は現行の推進計画を踏襲しつつも、見直しの必要が生じた場合の考え方を明記

＜土地利用区分を見直す場合の基本的な考え方＞

- ◆推進計画の目標①「自然地の増加」に鑑み、利用地から自然地への変更は自然地の増加に寄与するため、変更は推奨される。
- ◆自然地から利用地への変更は、ゾーニング目標①②と近年の利用形態を踏まえ、自然地から利用地へ変更する際は、同等規模の自然地の代替地を設けることを検討する。やむを得ず、自然地の代替を設けられない場合は、目標③の利用地の自然度向上に努めます。



※やむを得ず、自然地の代替を設けられない場合は、目標③の利用地の自然度向上に努めます。

＜ゾーニング全体目標＞

- ①自然地の増加
荒川将来像計画の理念を踏まえ、荒川下流部全体の自然地面積の増加を図っていくこととします。
- ②グラウンド面積の維持
スポーツグラウンド利用の現状を踏まえ、荒川下流部全体のスポーツグラウンド面積は、現状を維持することとします。
- ③自然度向上の推進
現在ある自然地を保全すると共に、ゴルフ場、スポーツグラウンド等については、バッファゾーン(緩衝帯)の整備、利用地の芝生化、草地化等により自然度向上(エコアップ)を促進することとします。

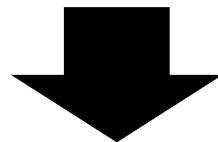
4. 今後のスケジュールについて

今後のスケジュール

- 2市5区の地区別計画の改定の承認を受けて、改定計画（地区別計画）を公表します。
- 引き続き、2区の地区別計画の改定に向けた作業を進めていきます。

令和7年7月7日開催

第39回 荒川の将来を考える協議会



改定案の承認

令和7年7月下旬

地区別計画の改定（公表）

戸田市、川口市
北区、墨田区、
葛飾区、江東区
江戸川区

令和7年度以降

地区別計画の改定（公表）

板橋区、足立区